

マーケットの動き (2019年12月2日～12月6日)

先週の米国株式市場は、米中通商協議の動向に一喜一憂する展開となりました。週間でS&P500種株価指数は小幅に上昇しました。

一部経済指標の悪化による米景気への警戒感が高まった局面もありましたが、米中通商問題の進展期待が市場心理を支えました。

景気下ぶれリスクが意識され、景気感応度の高い業種は相対的に下落しました。また、原油価格の反発を受け、エネルギーセクターは上昇しました。

投資環境見通し (2019年12月)

外国株式相場の先高期待は根強い

- 米中貿易協議が進展するとの見方から株式相場が高値圏で推移しており、短期的には調整しやすい状況にあると考えられます。
- 一方、企業業績予想は市場全体ですでに下方修正されていることや景況感の底打ちから、調整の動きは限定的で、株式相場の先高期待は根強いと考えています。

	12月6日	騰落率			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
S&P500種株価指数	3,145.91	0.16%	2.25%	10.64%	16.69%
NYダウ	28,015.06	▲0.13%	1.90%	8.92%	12.30%

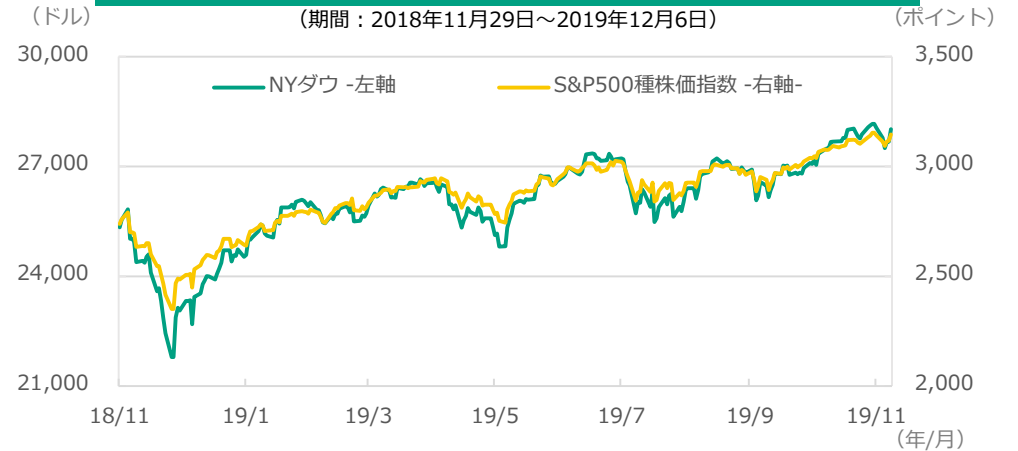
※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日(休日の場合は前営業日)までとします。

※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

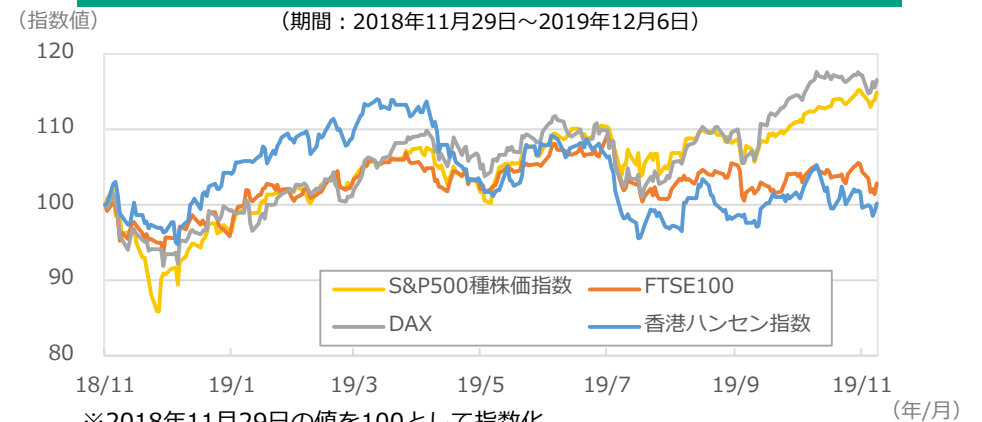
http://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/201912_outlook.pdf

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類(目論見書等)ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し(総合)の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>

米国株価指数の推移



主要国株価指数の推移



※2018年11月29日の値を100として指数化

※出所: FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成